

事業承継元の発掘・啓発（セミナーの開催）

- ✓ 「伝統的酒造り」に関わる事業者、関係者及び「伝統的酒造り」を事業承継したいと考えている方を対象にオンラインセミナーを開催（令和7年9月8日）。
- ✓ 事業承継に関するパンフレットを作成し、国税庁ホームページにて公表。

セミナー概要

伝統技術の承継の重要性について、2名の講師の実体験を交えながら紹介。事業承継に向けて事前に備えておくべきポイントや、見落としがちな落とし穴についても具体的な事例を交えて分かりやすく講演。
「伝統的酒造り」に携わる事業者に、事業承継のはじめの一歩を踏み出すためのヒントとなる情報を提供。

第1部

伝統をつなぐ 承継の意義



夢酒蔵株式会社
代表取締役 大邊 誠 氏

京都府出身。大手酒造メーカー「月桂冠株式会社」にて約40年間勤務し、営業・販売促進・人事総務・M&Aなど多岐にわたる業務を経験。取締役として経営にも携わり、日本酒業界の第一線で活躍してきた。60歳を前に、2022年に地方酒蔵の再生を目的とした「夢酒蔵株式会社」を設立。第一弾として滋賀県高島市の老舗酒蔵「吉田酒造」を買収・再建し、月桂冠OBの蔵人たちと共に伝統の酒造りを復活させた。地方酒蔵の経営支援、後継者育成、技術継承を通じて、日本酒業界の未来を見据えた活動を続けている。

第2部

酒蔵事業承継への挑戦と実務を通じた経営改革事例



株式会社日本酒キャピタル
代表取締役 田中 文悟 氏

1976年鹿児島県生まれ。関東学院大学経済学部卒業後、1999年にアサヒビール入社。営業職と並行しアメリカンフットボールチーム「アサヒビールシルバースター」で日本一を経験。2010年に酒蔵再建事業を立ち上げ、国内12蔵の再建を主導。2021年に株式会社日本酒キャピタルを創業し、現在は全国5蔵の代表取締役を務める。飲食事業も展開し、「街から酒蔵の灯を消さない」を信念に、日本酒文化の継承と地域経済の活性化に取り組んでいる。

アンケート結果

- ✓ **セミナー受講者：67名**
(うち承継元候補者36名)
- ✓ **セミナー満足度：86.9%**
(大変満足21.7%、満足65.2%)
- ✓ **行動変容を示唆する回答率：44.5%**
(すぐに行動したい27.8%、検討を始めた16.7%)
- ✓ **行動変容に至らずとも関心の高まりを示す回答率：16.7%**
- ✓ **連絡可能な承継元候補者：8名**

【当日参加視聴者数67名(国税庁ホームページにてアーカイブを公開中)】